

各 位

2022年3月11日
株式会社リットーミュージック

あの頃、ギター・ヒーローになりたかった
すべての大人ギタリストへ
ギター・マガジン・レイドバック第9号



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『ギター・マガジン・レイドバック第9号』を、2022年3月14日に発売します。

レイドバックとは？

ゆったりした、とか、くつろいだ、という意味です。大人のギタリストはもうアクセク弾くのはやめて、ゆっくり楽しくギターを弾こうよという意味が込められています。

【企画趣旨】

ゆる〜くギターを弾きたい大人ギタリストのための新ギター専門誌第9弾！

古き良き時代にギターを始めた大人世代に向けた新しいギター誌『ギター・マガジン・レイドバック』の第9弾です。誰もが憧れた懐かしのギター・ヒーロー、思い出深い名器、当時コピーに挫折した名演などにスポットを当て、ノスタルジックな目線でもう一度ギターの魅力を探っていきます。現役の親父ギタリストはもちろん、ギターを押し入れにしまってしまった方も、レイドバックした気持ちでもう一度我々と一緒にギターを弾いてみませんか？ セカンド・ライフをギターと楽しく過ごしましょう。

【CONTENTS】

ギター・マガジン・レイドバック第9号

◎表紙・巻頭インタビュー みんなギターで大きくなった

工藤晴香

人気声優、工藤晴香を表紙巻頭でフィーチャー。アニメ『バンドリ！』の氷川紗夜役でリアルバンドのRoseliaでもギターを弾く彼女に、ソロ・アルバムのこと、Roseliaのこと、ギターのことについて聞く。



ファンがギターを持つてる私が好きと言ってくれるので、期待に応えたいみたいなのはありますね。

みんなギターで大きくなった。

vol.9
声優
工藤晴香

声優

撮影/吉田 博之
スタイリング/小島 啓子 (S) (D)
ヘアメイク/小島 啓子 (S) (D)
メイク/小島 啓子 (S) (D)
メイク/小島 啓子 (S) (D)
メイク/小島 啓子 (S) (D)
メイク/小島 啓子 (S) (D)

くどはるの愛称で多くのファンに親しまれる声優、工藤晴香。ファッション誌の読者モデルをしていたころをスカウトされて芸能事務所所属し、雑誌『SWEET ENGLISH』で専属モデルを務めた後、声優としてデビュー。『ナチミツとクロバネ』の花本はぐみ役を皮切りに多くのアニメに出演し、近年は、高校生ガールズバンドの活動と成長を描いたアニメ『BANDORI!』(バンドリ!)の氷川紗夜役で大人気。劇中バンドRoseliaのリアルバンドではギターを担当。大会場でテクニカルな演奏を披露する。ソロ活動にも積極的で、これまでに2枚のミニアルバムとリミックス・アルバムを発表。3月30日にはフルアルバムをリリースする。ソロライブではボーリド・スミス、RoseliaではESPを弾き分ける彼女にソロ活動のこと、Roseliaのこと、そしてギターについてじっくり聞いてみた。

ギターを弾き始めたきっかけは、ニルヴァーナのカート・コバインです。ギターを始めたきっかけから教えてください。

高校生の時、レンタルCDショップで売っていた、ロウの同名CDを聞いて、その名前がすごく好きで、ニルヴァーナのCDを買って聞いたら、カート・コバインの曲がすごく好きで、その曲を聴いて、自分もギターを弾きたいと思ったんです。

— さいはるは、先ほども劇中にRoseliaのメンバーとして出演していましたね。—

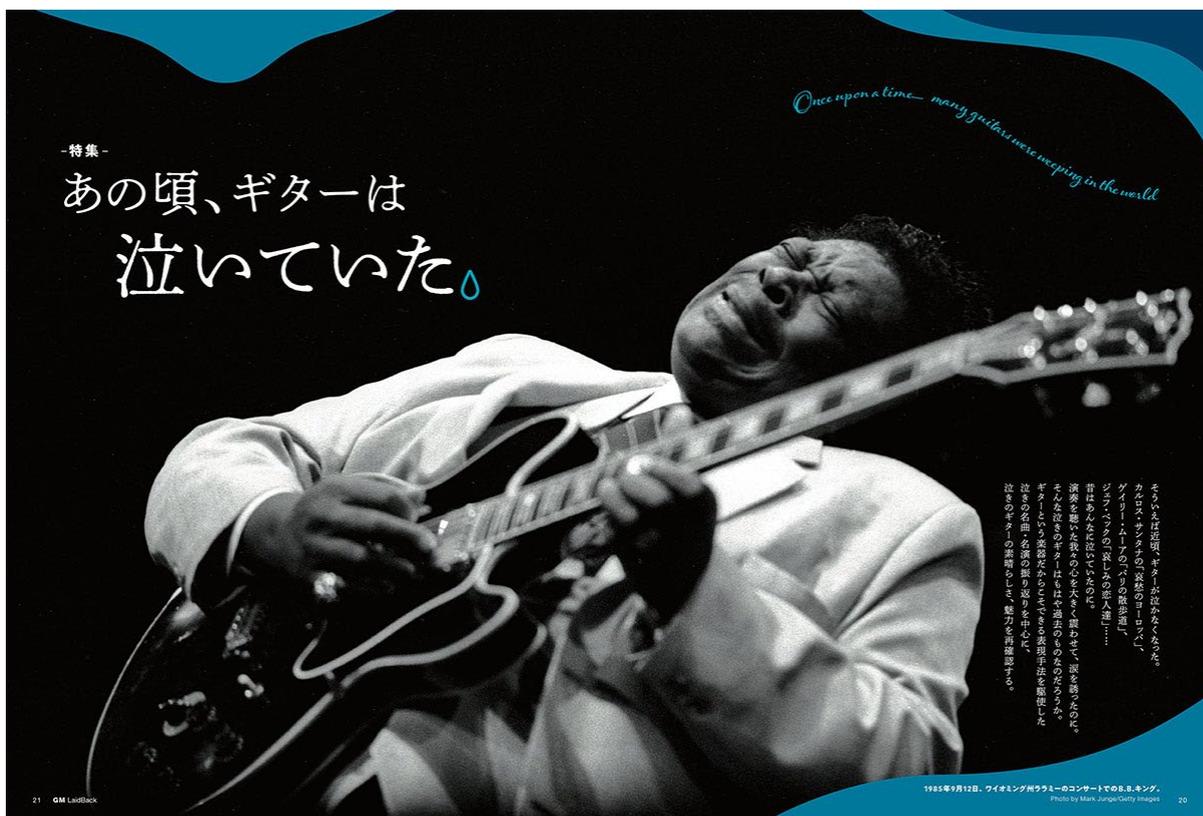
はい、弾いてました。(笑)

— その時ギターを買ったんですか? —

◎特集 1

あの頃、ギターは泣いていた。

そういえば、近頃、ギターが泣かなくなった。カルロス・サンタナの「哀愁のヨーロッパ」、ゲイリー・ムーアの「パリの散歩道」、ジェフ・ベックの「哀しみの恋人達」などなど、昔はあんなに泣いていたのに。そして、聴くものを感動させ、涙を誘ったのに。泣きのギターはもはや過去のものなのか。ギターという楽器の表現力を駆使した泣きの名演振り返りを中心に、泣きのギターの魅力を再確認してみたい。



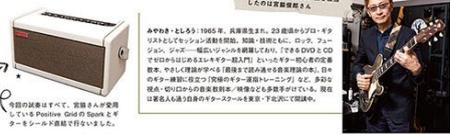
◎特集 2

レイドバック世代が憧れたシグネチャー・モデル、弾いてみました！

あの頃、憧れのギタリストが弾いていたギターがどうしても欲しかった。そんな夢を叶えてくれるのがアーティスト・シグネチャー・モデルだった。あの頃は手が出なかったけれど、大人になったレイドバック世代が今こそ入手できる、当時夢に見たアーティスト・モデルを試奏レポート、動画連動で魅力を伝える。弾いてみたのはジミー・ペイジ、リッチー・ブラックモア、ブライアン・メイ、ジョージ・リンチ、スティーヴィー・レイ・ヴォーンの“あのモデル”。

アーティスト・シグネチャー・モデルを振り返る

アーティストのシグネチャー・ギターは、そのアーティストの音楽的個性を表現する重要な要素の一つである。今回は、いくつかの有名なシグネチャー・ギターを紹介する。



※ギターのシグネチャー・モデルの
試着レポート。試着後、試着者
からの感想も掲載します。

※ギター・シグネチャー・モデルの試着レポート。試着後、試着者からの感想も掲載します。

レイドバック世代が憧れた

シグネチャー・モデル、弾いてみました!



※レイドバック世代が憧れたシグネチャー・ギター。試着後、試着者からの感想も掲載します。

◎レイドバック・ルポ

みんなグレコのカセットで大きくなった! 成毛滋そして竹田和夫のロックギター・レッスン

グレコのカセットを買ったあのカセットテープ、まだ持っていますか? そう、成毛滋のロックギター・レッスンだ。竹田和夫が後を継いで、第2弾も作られた。まだロックギターの専門書がなかった時代、どれだけのレイドバック世代がお世話になったことか。あのカセットはどのような経緯で作られたのか、どのような内容だったのか、今こそ検証してみよう。

みんなグレコのカセットで大きくなった

成毛滋そして竹田和夫のロックギター・レッスン

取材/文: 遠藤正典 撮影: 藤田山月
協力: 神田商店、田中裕 (プレイヤー・コラボレーション)、竹田和夫 (Marshall Museum Japan)

「グレコのカセットは、ロックギター・レッスン」と「ROCK GUITAR METHOD」の2冊の書籍が出版されている。これらは、成毛滋が「ロックギター・レッスン」で出版された「ロックギター・レッスン」という書籍であるが、この書籍は「ロックギター・レッスン」で統一する。

LaidBack Reportage 第9回

1970年代、グレコのカセットを買ったあのカセットテープ、まだ持っていますか? そう、成毛滋あるいは竹田和夫のロックギター・レッスンです。ロックギターの専門誌も教則ビデオもなかった時代、本場のロックの弾き方をレクチャーした画期的なメソッドに、どれだけのレイドバック世代がお世話になったことでしょうか。プロ・ギタリストの中にもあのカセットでギターを学んだという人は数多いといえます。成毛編が制作されて今年でちょうど半世紀。50年前に比べて、あの教則がどのような経緯で作られたのか、どのような内容だったのか、今こそ検証してみよう。



※グレコのカセットは「ロックギター・レッスン」と「ROCK GUITAR METHOD」の2冊の書籍が出版されている。これらは、成毛滋が「ロックギター・レッスン」で出版された「ロックギター・レッスン」という書籍であるが、この書籍は「ロックギター・レッスン」で統一する。

◎レイドバック・セミナー

知っておくと得する！ギター再生プロの技 電気系のメンテナンスその2

エレキギターの電気系のトラブルの解決法を伝授する2回目。快適に弾いていたエレキギターがある日、ノイズ混じりに。どこに原因があるのか突き止めて、修理していこう。

◎レイドバック・セミナー

エコノミー&スマートな簡単テンション・コード・ワーク

前号までにエコノミー&ブルージョなコード・ワーク、エコノミー&ジャジィなコード・ワークを伝授したが、いよいよテンション・コードを使ったコード・ワークを取り上げる。テンションは怖くない。ゆっくり練習してみよう。

◎レイドバック・セレクション

「アームド・アンド・レディ」マイケル・シェンカー・グループ

好評連載

- ・麗しのギター・アート・ギャラリー
- ・ヒーローのギターに大接近！108 ROCK STAR GUITARS
- ・ビンテージ・ギター・カフェ 1964年製グレッチ・テネシアン
- ・にっぽんのマスタービルダー紳士録 深野真（フリーダムカスタムリサーチ）
- ・よっちゃんのギターいじりism 野村義男
- ・あの頃、ライブ盤でごはん3杯
- ・定年後に聴きたいおニューミュージック
- ・イマ会いに行けるご当地トリビュート・バンド
- ・洋楽ディレクター地獄の回想

他

【書誌情報】

書名：ギター・マガジン・レイドバック 第9号

定価：1,650円（本体1,500円＋税10%）

ページ数：144ページ

判型：菊倍：303×227mm

縦書き 右綴じ 平綴じ

発売日：2022年3月14日

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/product/detail/3121217703/>

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 Rittor Base」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やエンタメ情報サイト『耳マン』、Tシャツのオンデマンド販売サイト『TOD』等のWebサービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証1部 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当 原見
Tel: 03-6837-4704 / E-mail: pr@rittor-music.co.jp